



薄根中学校 学習のてびき

はじめに

誰もが「できるようになりたい」と考えている学習には「コツ」があります。コツをつかむことで、短い時間でも十分な効果をあげることができます。ここに書かれていることを実践し、自分に合う学習方法を見つけていきましょう。

授業では・・・

- チャイム着席を心がけましょう。準備・教室移動は5分前に。
- 道具がすべてそろっているよう、連絡黒板の内容をライブに書きましょう。
- 先生の話をよくききましょう。
3つの『きく』①聞く ②聴く ③訊く(質問)
- ノートを取りましょう。
黒板の文字の他にも授業の疑問点や先生の話などを一緒に書き込んでおきましょう。
- よい姿勢を心がけましょう。
- 積極的に発言や課題、実験をしましょう。
自主的に動くことが一番効果的な学習です。

家庭では・・・

- 翌日の準備を前日にしましょう。
「ちょっと余裕がある」と学校生活を楽しめます。
- 宿題を最優先させましょう。
- 学習開始時刻を決めておくと、それが習慣になります。
- 家庭学習の基本は復習です。今日習ったことや、テストに向けての学習をしましょう。
- 予習をしておくと、授業が「内容が分かっていて良い気分」で受けることができます。
- 学習する部屋や場所を決めておくとよいです。
なるべく机と椅子がある場所がよいです。
(長時間座っていただける場所がベスト)
- ながら勉強にならないよう気をつけましょう。
(TV、音楽、動画、SNSなど)
- 学習よりも注意の向いてしまうものを近くに置かないようにしましょう。
(ゲーム、マンガ、音楽プレイヤーなど)
- 学習したものを自主勉強として提出しましょう。
学習は誰かに認めてもらったことが自信につながります。

テスト前には・・・

- 出題の範囲を確認！傾向をつかみましょう。
「先生は、どんな問題を出すだろう？」と考えてみよう。
- 教科書やワークの問題は要チェック！
(↑ここから出る)
- テストに間に合うように準備をしましょう。
「前日に徹夜」よりも
「2～3週間前から余裕をもって」。
- 「分からない」をテストまでに「分かる」に変えましょう。
- 時間が経つと覚えていたことも忘れます。確認を忘れずにしましょう。くり返し覚えたり問題を解いたりすることで効率良く覚えることができます。

国語科編

授業

- 授業に集中できるよう、積極的な姿勢で授業にのぞもう。
- 準備をしっかりとし、提出物を必ず仕上げよう。
- 丁寧な文字で書き、習った漢字は積極的に使い、色を工夫したり独自のメモを加えたりして充実したノートを作ろう。
- 積極的に発言・質問しよう。人の話をうなずきながらしっかり聞こう。

復習

- 新出漢字・全学年の漢字の練習・テストをしよう。
(間違ったものは再度練習、書き順にも注意)
- 学習したところの文章を繰り返し読もう。
- 単元で出てきた難しい語句の意味を調べ、短文を作ろう。

テスト対策

- 日々の授業で主体的に考える習慣をつけておく。
- ワークやプリント等に取り組み、テスト前に見直しておく。

その他

- 作文や新聞記事の感想などいろいろな文章を書く
- 手紙を書く ○資料集で勉強する ○漢字検定に挑戦する
- 読書をする (自分の力に応じて、少し難しい本、代表的な日本文学の本や外国の本等)
- 古典作品や詩を暗記する。 ○学んだ敬語を積極的に使う
- スピーチ練習 (録音をしてきく) ○教科書以外の漢字やことわざ、四字熟語、慣用句、故事成語など書き取って覚える。

数学科編

授業

- 自分で考える、友達と一緒に考える、考えたことを発表したり説明したりしよう。
※積極的に発表する・考えることが、数学を楽しむコツです。
※数学を楽しむことが理解への近道です。
- 疑問点はすぐに質問。授業中に「？」はなくしておこう。

復習

- ノートとプリントでその日の授業を振り返ろう！
ポイントはどこだったかな？
- その日解いた問題の類題を解いてみよう。
- 計算など練習問題をたくさんしよう。

テスト対策

- 教科書やワークの問題を中心に、繰り返し問題を解いてみよう。
- 自主勉強のノートや振り返りカードを通して、不明な点等を積極的に質問しよう。

その他

- 丸付けまでが大事な勉強。しっかりと確認しよう。
- 間違いを大切に、正しい解き方や考え方を身に付けよう。
<<間違い→どこが違うのか確認する>>

★今が数学好き、得意になるチャンス!!!一緒にがんばろう★

社会科編

授業

- 授業前に前回学習した内容を確認しておこう。
(特に歴史は前の時間とのつながりが大きい!)
- 次回学習する教科書の場所を必ず読んでおこう。
- 読んで意味の分からない言葉は国語辞書・用語事典で調べて意味調べしておこう。
- 複数の資料を結びつけて読み取ろう。
- 読み取ったことから時代や地域の特徴を考えよう。

復習

- ノートを見直して学習内容を確認しよう。
- ワークを使って問題練習をしよう。
できなかった問題は何回も解こう。

テスト対策

- 教科書やノートを読み返そう。
- ワークを使って問題練習をしよう。
できなかった問題は何回も解こう。
- 一度やった単元テスト等、繰り返し復習しよう。

その他

- 新聞やニュースを読んだり見たりしよう。
- テレビで見た国や地域を地図帳で調べよう。
- 歴史小説を読んでみよう

理科編

授業

- 理科は、「未知」を「発見」して「調べる」学問です。
授業での発見の喜びを楽しみましょう。
- 授業は前の時間の続きです。続きが分かるように、忘れ物がなないようにしましょう。
- 観察・実験を人まかせにせず、自分から参加しましょう。
- 自分の予想・意見をもって発言し、授業に参加しましょう。

復習

- 観察・実験の目的や方法、結果、考察等を中心に、ノートやファイルを見直し、整理してみましょう。
- ワークで学習内容が身に付いたかチェックしてみましょう。
- 用語や言葉が理解できているか確認して下さい。

テスト対策

- 先生が出題する問題を予想してみましょう。
- 教科書やノート、ファイルをもう一度見直しましょう。
- テスト範囲のワークを3回やってみましょう。
(くり返すことで脳は覚えます!)
- 単元テストをもう一度見直しましょう。

その他

- 理科の資料集をながめるのも良い勉強です。
- 科学番組や雑誌、本を見てみましょう。
- 自由研究や理科研究発表会(11月)に挑戦してみましょう。
(理科の先生に相談)

英語科編

授業

- ノートに予習をしよう。
 - ①新しい単語を調べる
 - ②教科書本文を書く
 - ③本文の意味を考えてノートに書く

- 先生や友達の発言は、顔を見て聴こう。
- 大きな口と声で、英語を話そう。(間違えてもOK!)
- ゲームなどの活動は、ルールを守って大いに楽しもう。

復習

- Bノートに単語・基本文の練習をしよう
- 音読練習をしよう。

テスト対策

- キーセンテンスを繰り返し復習しよう
- プリントや単元テストやワークを繰り返し復習しよう

その他

- ◎学習したことを用いて、自分ことや身の回りのことについて表現してみよう。
(日記、自己紹介、他己紹介、沼田の紹介、日本や日本文化の紹介等)
- 英検など、各種検定試験に積極的に挑戦しよう。

保健体育科編

授業

- 【体育】
 - 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解すると共に、基本的な技術を身につけよう。
 - 運動について自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断すると共に、他者に伝えよう。
 - 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、1人1人の違いを認めようとするなどの意欲を持つよう。
 - 健康・安全について留意し自己の最善を尽くして運動しよう。

【保健】

- 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけよう。
- 健康についての自己やチームの課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を身につけよう。
- 生涯を通じて心の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身につけよう。

その他

- テレビ・パソコン等でトップアスリートの体の動かし方を観て真似してみよう。
- 保健に関わる情報についてニュース・新聞を意識して生活してみよう。

家庭科編

授業

- 黒板の内容をしっかりとノートに書き写そう。
- 先生や友達の意見をよく聴こう。
- 学んだ知識をいかし、実習で技能を身に付けよう。

その他

- 学習したことを家庭で実践してみよう。
- 料理、ミシン、アイロンがけなど、自分のことをやってみよう。

技術科編

授業

- 実習をしっかりと受けよう。作品は作ろう。
- 日常生活に役立つものを考えよう。
- 制作は安全に。

その他

- 日常生活で使えるものづくりを家でもしてみよう。
- プログラミングやキーボード練習は家でもできます。

美術科編

授業

- 作品をしっかりと作ろう。
- 分からないところは先生に聞きながら作ろう。
- 色やデザインには理論・理屈がある。それを学ぼう。
- 鑑賞は積極的に良いところを探そう。

その他

- 有名な作品を見たり、同じ作者の様々な作品を見てみよう。
- 夏休み、冬休みなどに作品作りに挑戦しよう。入選作品を見て良いところを真似してみよう。

音楽科編

授業

- 音楽用語を覚えるととても楽しいですよ。
- 鑑賞は情景を楽しみながら。
- 合唱は歌詞と音を早く覚えよう。

その他

- 歌や楽器を家でも楽しんでみましょう。
クラシックも聴いてみませんか?